

広報



Public Relations Wakasa

青梅収穫最盛期

北陸、中部、関西方面へ出荷始まる

7

2009
No. 51

まちかど救命

～わたしたちの手で救える命があります～

心臓停止後約3分で50%が死亡するとも言われており、日本では1年間に約3万数千人が心臓が止まることで突然死しています。救急車の到着まで全国平均で約6分。

居合わせた人が応急処置をした場合と救急車が来るまで何もしなかった場合では命が助かる可能性が大きく違います。

可能性のひろがり

一般の人ができる応急処置は従来、心臓マッサージと人工呼吸でした。

平成16年7月、心臓に電気ショックを与えて心臓の働きを取り戻せるAEDという医療機器が医師や救急救命士だけでなく、一般の人でも使えるようになりました。

これにより、救急車の到着前の早期に、心臓の働きを取り戻すことが可能になり、救命の可能性が大きくひろがりました。



◀AED本体

▼電極パッド



▲AED設置場所を知らせるマーク

AEDとは (Automated External Defibrillator)

自動体外式除細動器のことで、心室細動の際に機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショック（除細動）を与え、心臓の働きを取り戻すことを試みる医療機器です。

使い方は電源を入れ、付属の電極パッドを胸に貼り付けると、心電図を解析して電気ショックを与えるべきかを機器が判断し、音声案内にしたがってスイッチを押すと電気ショックを与えます。

これをきっかけに心室細動が解消され、心臓マッサージや人工呼吸を行うことで、心臓や呼吸が正常な働きなどを取り戻し、救命へとつながっていきます。

心室細動とは

心臓が小刻みに震えて全身に血液を送ることが出来ない状態をいいます。胸にボールが当たったりすると心臓がけいれんを起こして血液を送り出すポンプの役割をしなくなるのがその一例です。

これを正常な状態に戻すには電気ショックが必要です。

心室細動は、健康な人でも脱水、栄養障害のほか、胸への衝撃で突然心臓のリズムが乱れて起こる場合があります。

これから夏本番を迎えて、スポーツをしたり、またそれにより脱水状態になったり、夏バテで栄養が偏ったりする場合には注意が必要です。

救命処置の手順

- ①意識の確認
- ②応援の要請（救急車とAED）
- ③呼吸の確認
- ④人工呼吸2回
- ⑤心臓マッサージ30回
- ⑥AEDで電気ショック

※必要に応じて④～⑥を繰り返す

実録・・・常神でAED

昨年12月の夕方、常神地区のあるお宅で、おじいちゃんが食事中、食べ物をのどに詰まらせた。

家族は救急車を要請し、近所の方が集落内で看護師経験のある小西智美さんに助けを求めた。

小西さんは、おじいちゃん宅へ急ぎ、意識、呼吸、心音を確認したが、心肺停止状態のため、すぐさまおじいちゃんの息子とともに心臓マッサージと人工呼吸を始め、消防団にAEDを要請。

消防団班長(当時)・藤村孝幸さんが連絡を受け、AEDが設置してある常神共同利用施設に取りに走り、AEDを届けた。

小西さんはAEDを作動させ、その間、藤村さんは人工呼吸を代わった。

AEDの音声案内に従い、心臓マッサージを続け、救急車の到着を待った。

まもなく救急車が到着し、おじいちゃんを救急車に乗せることが出来た。

小西さんは「初めてAEDを使い無我夢中だったが、音声ガイドに従い冷静になれたと思う」と当時を振り返った。

藤村さんは、「小西さんが落ち着いて対応する姿を見て、自分も動揺せず冷静になれた」と話した。

命のリレーを終えたわずか3ヵ月後、小西さんは2度目のAEDを使うことになる。

夫の母が風呂場で倒れ、意識がなくなっているのを発見。すぐさま、心臓マッサージを繰り返し、AEDを要請。

AEDは心電図を計測後、心臓マッサージを指示。

救急車が到着するまで夫が心臓マッサージ

を小西さんは人工呼吸を施した。

常神集落ではこの2回とは別に、以前、大阪からの民宿に泊まりに来ていたお客さんが一緒に来ていた仲間に使ったこともあるとのこと。



当時を振り返る小西さん(写真右)と藤村さん(写真左)

あなたの勇気とAED

勇気を持って

「救急の到着まではどうしても時間がかかる。地域のつながりを活かして近くにいる方が救いの手を差し伸べてほしい」と三方消防署の島津裕文消防司令補。

また、三方消防署、上中消防署では救急、救命、心肺蘇生法の講習を随時受け付けているとのこと。

夏場はスポーツも盛んに行われ、脱水症状が起こりやすく、また、海や山に多くの観光客が訪れます。

一人でも多くの方がAEDの設置場所や使用方法を知って、万一の時には勇気を持って行動に移すことが期待されています。

あなたの勇気とAEDで、救命の輪をひろげましょう。



AEDの使用手順を説明する島津消防司令補

町内AED設置場所

すべての小・中学校、三方保健センター、パレア若狭、地域福祉センター泉、水月花、常神共同利用施設、小川消防器具置場、世久見消防器具置場、食見消防器具置場のほか町営バス常神三方線の車内、MMネット取材車両に搭載されています。

※町が把握しているものに限ります。

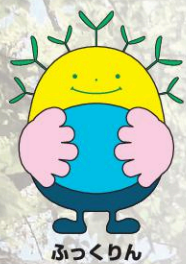
第60回全国植樹祭

2009 ぶくい 嶺南会場

水をたくわえ、

四季を彩り、心はうるおいをくれる

森林は共有の財産



ふっくりん

全国植樹祭（嶺南会場）が縄文ロマンパークなどで開催されました。

植樹祭は森林・緑に対する理解を深めようと、昭和25年から毎年開催されている国民的行事で、メイン会場である福井市の一乗谷朝倉氏遺跡では天皇、皇后両陛下がご臨席のもと、式典が行われました。

嶺南の地域会場となった縄文ロマンパークでは一般の参加者をはじめ町内外の小学生ら約800人が集まり、記念式典などが行われました。

また、能登野の植樹会場では、広葉樹約600本が緑の少年団や町内小学生などの手で植樹されました。

オープニング



敦賀高校吹奏楽部マーチングバンドのオープニングアトラクションで幕が開き、記念式典の開会が宣言されたあと、緑の少年団が「森林は地球温暖化を防ぎ、川や海にも大切なもの、自然や緑を守っていく」と誓いの言葉を述べました。

また、ボタン、西洋シャクナゲ、ライラックの苗木約100本の無料配布が行われたほか、午後からは花の寄せ植え教室や緑の音楽会が開かれました。

記念植樹

嶺南市町の代表者がパーク内の広場にトチノキ、スダジイ、ヤブツバキの幼木を記念植樹しました。

トチノキは盆などの器として、スダジイは木杭、ヤブツバキは櫛としてどれも鳥浜貝塚から出土しており、古代から木製品の材料として利用されてきた木々です。



縄文生活体験



参加者は森や木に思いを寄せながら、火おこし、まが玉づくり、トンカチ広場、木工クラフト体験などを楽しんでいました。

原始の三方五湖周辺は広葉樹にあふれた森でした。
そして木を巧みに利用してきました。



チェーンソーアートショー

チェーンソーアート世界チャンピオンの城所ケイジさんが3種類のチェーンソーを巧みに操り、間伐材の杉の丸太で魚と丸木舟の作品を完成させました。

来場者は出来上がった作品をじっくり眺めたり、手で触って木の感触を確かめながら、活きいきとした作品に感嘆の声をあげていました。



広葉樹600本植樹

能登野の里山では、町内をはじめ嶺南地域から集まった緑の少年団や町内の小学生440人あまりが一般の参加者などとともにクヌギ、アオダモなどの広葉樹の苗木約600本を植樹しました。



これらの苗木は、県内の家庭や町内外の児童らの手で育てられたものです。

児童は「初めて山に来て木を植えたよ」「無事に育ってほしい」と話していました。

森林を未来へ引継ぎ、

発展させることは私たちに託された使命

豊かな森林の再生を願う

まちの話題

WAKASA TOWN NEWS

手作りが一番！

美水道楽博イベント (5/16)

食をテーマとして、町の観光、人、自然などを楽しむ「美水道楽博」のイベントがみなか農楽舎で行われ、町内外から約200人の親子連れが参加しました。

開会式典では、祖父が熊川出身で料亭「菊乃井」御主人、美水道楽博の食アドバイザー・村田吉弘氏が声高らかに開会を宣言しました。

その後参加者は、田植えやおにぎりづくり、宝探しのほか、バウムクーヘンやアイスクリームづくり、スペアリブ焼きなどを体験しました。

また、須恵野創作館では村田氏による講演会と料理講習会も行われ、参加者らはプロの技を間近に見て感動していました。



田植え体験

手作り体験を ▶
楽しむ子どもたち

超一流の技伝授！

「バレーボールの集い」(5/17)

若狭町出身で、全日本男子バレーボールの主将として北京五輪に出場した荻野正二選手とサントリーサンバーズのチームメイト津曲勝利選手、吉田譲選手によるバレーボール教室が行われました。

教室は小中学生を対象に行われ、参加者はレシーブの仕方などを真剣に教わっていました。

また、3選手による模範プレーも行われ、スパイクが決まると、プロのスピードと迫りに会場からどよめきがあがっていました。



◀レシーブの指導を受ける

子どもたちと ▶
ふれあいゲーム

米づくりに精進

献穀米田植式 (5/20)

新嘗祭に供える献穀米の田植式が、相田の河村石松さんの水田で行われ、早乙女姿の明倫小学校の児童らと一緒に苗を植えました。

献穀は、県内約3万4千戸ある農家から毎年1人「奉公者」を選び、秋の宮中の新嘗祭に新米を献上するものです。

今年は、河村さんが選ばれ、1アールの田んぼでコシヒカリを栽培します。

河村さんは「苗がすくすく成長するよう精進したい」と話していました。

稲は9月中旬に刈り取られ、厳選されたものが宮中に送られます。



苗を植える河村さんたち

海の体験学習はじまる

海の体験学習 (5/27)

県外中学生などが干物づくりや定置網見学などを行う海の体験学習がはじまりました。

この日体験したのは、福岡中学校（岐阜県）の61人。初めて魚をさばく生徒らは、漁師の方に教わりながら楽しく体験していました。

今年も約5千人が体験学習に訪れる予定です。

大人になってからも、再び若狭町を訪れてくれることに期待が寄せられています。



アジのさばき方を教わる生徒

はじめてのおもてなし！

農村民泊に第1号のお客様 (5/30)

熊川宿にある旧逸見勘兵衛家に大阪府高槻市から2組のご夫婦が宿泊しました。

旧逸見勘兵衛家は、田舎の自然、歴史・文化や地域住民とふれあい、感動を共にしていただく「宿泊交流」施設として町が客室やキッチンなどを改修しました。

この日、2組のご夫婦は高槻市から朽木村まで電車とバスを乗り継いだあと、熊川宿までの約16キロを歩いて到着しました。

施設を運営する「熊川宿おもてなしの会」は、地元食材で創作した揚げ物や煮物、焼き鯖などの夕食を用意し、心から歓迎していました。

ご夫婦は、「往時の熊川宿に思いをさせ、宿場館で文化にふれ、自然も満喫しながら人なつこい村の方との会話に心が洗われた。また来たい」と話していました。

町内の農村民泊は、他に5つの農家があり、随時申し込みを受け付けています。



▲ご夫婦とおもてなしの会のなさん、旧逸見家前で



▲地元食材での夕食を楽しむご夫婦

おいしく！楽しく！健康に！

食と健康づくり講演会 (6/4・5)

パレア若狭、三方公民館、美方高校の3会場で榊ヘルシーピット代表取締役で管理栄養士の杉本恵子氏による「食と健康づくり講演会」が行われました。

この講演会は、「美水道楽博」の一環として開かれ、「食事とは人を良くする事と書く」、「今日の食事は今日明日だけではなく、10年、20年後の体を作る」、「赤・白・黄・緑・黒の5色の食材を彩りよく、毎日取り入れることがバランスの良い食生活に近づく第一歩」など、みなさんがより健康で明るく生活できることを目指してほしいと未来の調理師や栄養士たちに話していました。



メモを取り講師の話を聞く生徒

JR 小浜線の利用に補助します!!

町では、JR 小浜線の利用促進を図るため、JR 小浜線などを
利用した方に対し、運賃などの一部を助成しています。
JR 小浜線や町内の駅を利用して、地域の宝を守りましょう!



助成対象事業	助成金の額
団体旅行 (8人以上)	団体割引後運賃の20% 【限度額】片道510円/人、往復1,020円/人 (特別割引乗車券は除く)
グループ旅行 (4人以上)	運賃の20% 【限度額】片道600円/人、往復1,200円/人 (片道101km以上に限る)(特別割引乗車券は除く)
普通乗車券等購入	支払額100円単位毎に、協同組合上中商店連盟「あじさいカード」制度、協同組合三方商店連盟「三方マイカード」制度または三方ショッピングセンターレピア「レピアカード」制度のポイント“1ポイント”を加算 (購入金額が900円未満のものは除く)
定期券購入	支払額の2%または支払額100円単位毎に、「あじさいカード」、「三方マイカード」もしくは「レピアカード」のポイント“1ポイント”を加算 (3ヶ月以上または20km以上の定期に限る)(小中学生を除く)
回数券購入	支払額の10%
成人式参加	町が行う成人式の参加に要する交通費のうち、乗車券運賃のみを対象とし、その運賃の学生割引等の割引後の総額の20%

※助成申請用紙は三方駅、上中駅に備えてあります。

●問い合わせ 企画環境課 TEL0770-45-9110

広報クイズ

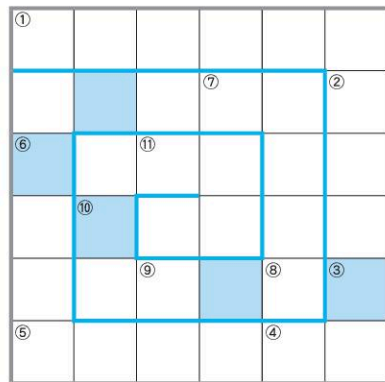
■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。5つある青いマス
の文字を並びかえると、答えになります。ハガキに答えと
広報紙の感想やご意見、住所、氏名を書いて、
「〒919-1393 若狭町役場企画環境課」(住所は省略できます)
まで送ってください。E-mailでも受け付けます(kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp)。正解者の中から抽選で5人に図書券が当たります。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。締め切りは7月15日(水)必着です。

☆しりとりうずまきクイズ☆

◇キーワード◇

- ①牛乳・砂糖・卵黄などで作る氷菓子
- ②前後の足の間にある飛膜を広げて木から木へ滑空する哺乳類
- ③麦芽に、ホップを加えた醸造酒
- ④カジノゲームの一種○○○
- ⑤縄文時代の丸木舟が発掘された貝塚
- ⑥縁起がよいとされ店頭飾られるおきもの
- ⑦音楽会や演奏会のこと
- ⑧北陸三県といえば福井、石川とどこ?
- ⑨寝るとき頭をささえるもの
- ⑩照明やあかりのこと
- ⑪3月に開通した、塩坂越と遊子を結ぶ「遊子○○○○」



【ヒント】

4月29日、シーズン中の安全を願って三十三間山で行われました

こたえ ○○○○○

広報クイズ6月号の答え 『あいは一と』

- ①フグクヨウ ②ウツノミヤ ③ヤンキース ④スコットランド ⑤ドングリ
⑥リキュウ ⑦ウグイス ⑧スベア ⑨アロハシャツ ⑩ツエ

Happy BIRTHDAY 3歳で〜す

このコーナーでは、その月に3歳を迎える町内にお住まいの男の子・女の子に登場していただいています。ご応募いただいた方のみ掲載しています。
今回は平成18年7月生まれの3歳になるお子さまです。



吉田 直矢くん
7月3日生まれ（脇袋）
親：英雄・明美さん
はたらく車がだ〜いすき
いろんな車にのりたいな。♥



百田 愛望ちゃん
7月13日生まれ（藤井）
親：貢・里美さん
公園で遊ぶの大好き！
妹の恵望ちゃんが生まれたよ！



玉井 菜月ちゃん
7月29日生まれ（三宅）
親：久喬・妹子さん
妹が大好き☆お世話上手の優しいお姉ちゃんです。

次回は平成18年8月生まれのお子さまが対象です。写真と25字以内のコメント、生年月日、ご両親のお名前、連絡先を添えて、企画環境課または住民サービス室（上中庁舎）にお持ちください。（E-mailでの送付も可。）7月3日（金）必着です。
●問い合わせ 企画環境課 TEL 0770-45-9110
E-mail : kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp
(E-mailの場合は受信確認のため、必ずお電話ください)

冠 句	川 柳	短 歌	俳 句	広 報 文 芸
首飾り野の花で足りる幼き日揺れている	若狭町冠句の濃い目に塗ってクラス会	午前九時家族それぞれ出で行きて時計の音が	海士坂俳句会	
愚図ついで決断の二字揺れている	お化粧を濃目に塗ってクラス会	上中短歌会	鳥の対話のしき五月晴れ	
大野貞子（倉見）	嫁と孫我が家の歴史塗り変える	三つの顔持つ	大鳥羽山水会	
今川ことね（鳥浜）	運命が離れては寄る花筏	悲しみも怒りも含む阿修羅の像は苦悩の表情	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	
西治子（堤）	文化生活日々初心者わたしです	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	かをり歌会	
山本光子（兼田）	柳湖畔	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	ざわざわと木々の厚みや夏来る	
岡本通子（日笠）	日だれ掛けの所々にのこりいる石佛群に淡き	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	走り茶やはんなり返す京訛	
今川てる子（鳥浜）	よだれ掛けの所々にのこりいる石佛群に淡き	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	大鳥羽山水会	
吉田恵美子（脇袋）	よだれ掛けの所々にのこりいる石佛群に淡き	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	鳥の対話のしき五月晴れ	
玉井富枝（三宅）	よだれ掛けの所々にのこりいる石佛群に淡き	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	海士坂俳句会	
由里絹子（井崎）	よだれ掛けの所々にのこりいる石佛群に淡き	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	鳥の対話のしき五月晴れ	
中村りゑ子（氣山）	よだれ掛けの所々にのこりいる石佛群に淡き	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	大鳥羽山水会	
原田敏子（大鳥羽）	よだれ掛けの所々にのこりいる石佛群に淡き	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	鳥の対話のしき五月晴れ	
原田洋美（大鳥羽）	よだれ掛けの所々にのこりいる石佛群に淡き	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	海士坂俳句会	
池田マリ子（海士坂）	よだれ掛けの所々にのこりいる石佛群に淡き	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	鳥の対話のしき五月晴れ	
西山阿起（海士坂）	よだれ掛けの所々にのこりいる石佛群に淡き	「花散らしの雨」とやまさに今朝見れば地に	大鳥羽山水会	

情報

BOX

2009年7月

三方庁舎 45-1111(代)

- 総務課 45-9109
- 企画環境課 45-9110
- 政策推進室 45-9112
- 税務課 45-9101
- 住民課 45-9106
- 建設水道課 45-9104
- 農林水産課 45-9102
- 商工観光課 45-9111
- 会計課 45-9100
- 議会事務局 45-9117
- 保健センター 45-1563
- 三方診療所 45-0714
- 教育委員会事務局 45-2222
- 図書館三方館 45-9115
- 縄文博物館 45-2270

上中庁舎 62-1111(代)

- 福祉健康課 62-2703
- 子育て支援課 62-2704
- 文化振興課 62-2508
- 図書館パレア館 62-2505
- 文化財室 62-2711
- 住民サービス室 62-2700
- 上中病院 62-1188

NTT電話でおかけの場合、
三方-上中間は「0770」
をつけてください。
有線電話の場合は上記の
番号のみで通話できます。

狩猟免許試験

農林水産課

狩猟(集落で有害捕獲檻を管理する場合も含む)を行うには狩猟免許を取得する必要があります。福井県では次の日程で狩猟免許試験を実施します。

■第1回

試験日: 8月2日(日)
試験会場: 三方青年の家
申請期間: 6月19日(金) ~ 7月17日(金)

■第2回

試験日: 9月6日(日)
試験会場: 福井県立大学 福井キャンパス
申請期間: 6月19日(金) ~ 8月19日(水)

●問い合わせ

(申請書類配布・提出先)
農林水産課

社会を明るくする運動

住民課

7月は法務省が主唱して実施する「社会を明るくする運動」の強調月間です。

町でも保護司会を中心に区長会、更生保護女性会、青少年愛護センター、民生児童委員協議会などの代表者で実施委員会を設け、町内一円で広報および学校訪問などで運動の趣旨伝達を実施します。

■重点事項

「犯罪や非行をした人たちの就労支援」

■キャラバン隊

7月1日(水)午前中キャラバン隊が町内を巡回します。

●問い合わせ

社会を明るくする運動若狭町実施委員会(住民課内)

食生活改善推進員養成講習会

福祉健康課

食生活改善推進員養成講習会の受講生を募集します。

■対象

食生活を通して地域の健康づくりを学び、実践したい方

■日程

- ① 8月25日(火) 開講式、推進員の役割、町の健康実態
- ② 9月15日(火) 健診結果から自分の体を考える
- ③ 10月14日(水) バランス食の学習①
- ④ 11月26日(木) バランス食の学習②
- ⑤ 12月中 調理の基本
- ⑥ 1月中 運動体験学習
- ⑦ 2月10日(水) 食品衛生、閉講式

■定員 10名

■申し込み締切 7月17日(金)

●申し込み・問い合わせ

福祉健康課 健康グループ
電話 62-2721 FAX62-1049

子どもの人権110番

福井地方法務局

一人で悩んでいませんか? 「いじめ」、「体罰」、「虐待」、「悩みごと」、「心配ごと」、「疑問」など何でも相談してください。

フリーダイヤル

0120-007-110

■強化週間受付日時

6月28日(日)と7月4日(土)の10:00 ~ 17:00

6月29日(月) ~ 7月3日(金)の8:30 ~ 19:00

福井地方法務局・福井県人権擁護委員連合会

●問い合わせ

福井地方法務局人権擁護課
TEL 0776-22-4210